

会 議 名	平成 29 年度 第 2 回板橋区健康づくり推進協議会
開 催 日 時	平成 29 年 12 月 12 日 (火) 午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分まで
開 催 場 所	板橋区役所 南館 4 階 災害対策本部室
出 席 者	31 人 [委員 18 名] 許 委員 内田委員 水野委員 金子委員 清水委員 石井委員 三原委員 鈴木委員 山口委員 長澤委員 小林委員 本部委員 宮坂委員 片寄委員 須藤委員 藤井委員 佐川委員 水村委員 [事務局 13 名] 渡邊健康いきがい部長 鈴木保健所長 新部健康推進課長 村山生活衛生課長 水田予防対策課長 松本板橋健康福祉センター所長 寺西赤塚健康福祉センター所長 坂上志村健康福祉センター所長 (以下、健康推進課) 小林係長 関根係長 西尾係長 新井係長 小野主事
会議の公開	公開 (傍聴できる) 部分公開 (部分傍聴できる) 非公開 (傍聴できない)
傍 聴 者 数	なし
議 題	1 開会 2 議題 (1) 「いたばし健康プランの中間評価及び後期行動計画の策定について (諮問事項)」の答申について (2) その他 3 閉会
配 付 資 料	資料 1 板橋区健康づくり推進協議会答申 (案) 概要 資料 2 板橋区健康づくり推進協議会答申 (案) 資料 4 板橋区健康づくり推進協議会答申 (案) 鑑・挨拶文 資料 5 いたばし健康プラン区民健康意識調査等報告書 (暫定版) (資料 3 は欠番)
審 議 状 況	別紙会議録のとおり
所 管 課	健康生きがい部 健康推進課 管理係 電話 3 5 7 9 - 2 3 0 2

平成 29 年 12 月 12 日 (火)  
災 害 対 策 本 部 室

平成 29 年度第 2 回板橋区健康づくり推進協議会

1. 開会

許会長から開会の挨拶を行った。

2. 議題

平成 29 年度第 2 回板橋区健康づくり推進協議会議録

許会長	それでは健康づくり推進協議会の議事を始めます。順に説明願います。
健康推進課長	(1)「いたばし健康プランの中間評価及び後期行動計画の策定について(諮問事項)」の答申について 事務局より資料4「板橋区健康づくり推進協議会答申(案)鑑・挨拶文」を読み上げ、資料1に基づき、板橋区健康づくり推進協議会答申(案)概要の内容を説明した。
許会長	この件について、何かご意見・ご質問等のある方はご発言を願います。
小林委員	資料1のp2重点目標④「適量を知り、飲み過ぎない」について、このままだと何の適量を知るのかわかりづらいので、「飲酒の」という表現を付け加えてみてはどうか。
健康推進課長	確かに伝わりにくいと考えられる。「お酒の」とか、「飲酒の」などという表現を加えてわかりやすくする。
許会長	修正する文言は事務局に一任して良いか。
小林委員	一任して良い。
許会長	承知した。では、事務局にはわかりやすい文言を追記していただきたい。今回、新規目標に「受動喫煙が及ぼす害について知り、防止に取り組む」が加わり、受動喫煙防止に力を入れている。これまでの目標には入ってなかったのか。

健康推進課長	これまでも受動喫煙防止に関わる目標・指標を設けていた。「いたばし健康プランの中間評価及び後期行動計画（素案）」（以下、素案）の p21 で確認できる。この部分をより一層強化し、新たな目標・指標を定めている。
許会長	今回の調査結果をみると、計画策定時と中間時と比べてほとんどの項目が改善している。しかし、不思議なことに妊娠中に喫煙していた人の割合がやや増えていた。産婦人科の先生や母子に対する行政の定期ケアを通じて、喫煙防止の周知をしっかりと進めていくべきでは？
健康推進課長	平成 28 年度から母子手帳を交付する際に、面接の場を設けている。その時にたばこのことも聞いている。質問がプラン策定当初と同じであるため、その時点では辞めている方がほとんどだが、過去に吸っていた人がいる。この数値が実態だと考えている。
許会長	全国的にみても若い女性の喫煙者が増えているため、それが反映されていると考えられる。
清水委員	資料 1 の p2 重点目標⑥「予防接種を受ける」について、インフルエンザのワクチンの量が限られていて、今年は受けられていないのだが、何か手立てはないのか。
許会長	先週、大幅に量を確保したため、ご要望があれば私の勤務先の医療機関でも接種できる。どうやらワクチンの製造効率が悪く、国が見込んだワクチン量に至っていなかった。私の勤務先だと予約が必要で時間がかかるが、近所の開業医さんであれば、その場ですぐに接種できると思う。
水野委員	今週、やっとワクチンを入荷できた。2 回ほど国家検定をクリアできなかったワクチンがあったと聞いている。国の方で不足しているわけではない。生産が追いついていなかっただけなので、今週からは接種できると思う。
許会長	ワクチンに頼らず、日ごろの手洗い、うがいをすることがまずは重要だろう。
内田委員	資料 1 の p2 重点目標⑥「予防接種を受ける」について、全ての種類の予防接種という意味合いでよろしいか。伝われば良いかと思うがどう

許会長	か。 区で特に重要視している予防接種はあるのか。
保健所長	素案 p29 に掲載している「麻しん風しん混合（MR）」を目標にあげている。全てというわけではなく、目標値に到達しなかったものを個別の目標に据えている。
許会長	学齢期、青年期と若い人たちの接種率について、外国に行く時等にも必要である。インフルエンザはあまり注目されていないようだが、とにかく接種率が策定時から中間時に下がっていることが問題なので、啓発を進めていただけるようにすることが重要。特に、二種混合が乳幼児期の数値よりもだいぶ低い。これは保健所、学校、開業の先生方、どこで啓発するのか。
保健所長	保健所では個別通知で啓発している。接種率向上には、保健所だけでなく医師会や学校、住民の協力が必要であるため重点課題と位置付けた。
水野委員	接種タイミングが小学校 5 年生ごろの接種になり、この頃は勉強などで忙しくなる時期でもあるため、接種が難しいと思う。5～6 年生の父兄の方も、もう受ける必要のあるものがないと思いこんでいる人もいる。医師会としてもみなさんに周知していきたい。
許会長	中学の入学手続きに受診した・しないを聞くことはないのか。そこで気づくかもしれない。
予防対策課長	二種混合ワクチンについては、チェック体制はないが、学校にチラシを配布して接種勧奨を促している。また、接種の時期になると家庭にも個別に送っている。ただ、やはり学校生活が忙しく、特別区全てがこのような接種率である。ジフテリアと破傷風については、今でも感染の危険性があるため、従来の勧奨に加えて、接種率を高める取組みを行っていきたい。
許会長	学齢期、青年期は知恵を絞る必要がある。新規目標のワーク・ライフ・バランスについて、どのように実現するのか私の勤務先でも頭を悩ませている。医療機関に対しては、政府が 5 年間の延期措置を講じた。職業のカテゴリによって取り組みやすい所と取り組みにくい場所があ

	る。このあたりの戦略はどうか。
健康推進課長	素案 p65 に掲載している。ワーク・ライフ・バランスに関わる新たな指標として、ワーク・ライフ・バランスの言葉の周知度、取組みの認知度、意識している人の割合、実現している人の割合を設けた。また、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた区民の取組み、地域の取組み、区の取組みを一覧にしている。区ではすでにワーク・ライフ・バランスを実践している企業を表彰する制度がある。素案 p77 にコラムを載せている。引き続き、このような周知を展開していきたい。
許会長	なかなか難しい取組みだと思うが、行政がしっかりと進めていくことで、我々もやらなければならないという気持ちになってきている。これまで飲酒、予防接種、ワーク・ライフ・バランスに関わる内容が議論された。予防接種の重点目標の文言について、主語を追記するのか。
健康推進課長	4 年前にさまざまな取組みを行った上で、数値の悪い 2 項目を取り上げているため、ここについてはこのまま進めさせていただければと考える。
許会長	学齢期・青年期に限るのか、全般的なのか。ただ、先程のインフルエンザの予防接種は若い人たちに限ったことではないので、全般を対象にした方が良くもしいない。
内田委員	私はわかりやすさを重視して文言を追記しても良いと思う。冒頭に「全ての」と追記するのはどうか。
許会長	重点的に取組みを進めていくのであれば、このままで良いと考える。
内田委員	承知した。
健康推進課長	今回 A 判定だった指標のなかにも、当初掲げた目標に遠い指標が含まれている。その目標を達成できるように力を入れていきたい。
許会長	QOL に関わるフレイル、認知症の情報は取りあげるのか。
健康推進課長	コラムとして素案 p78 に掲載している。認知症は p74 に認知症施策の推進に関わる概要版 AIP、地域包括システムのことを取り上げている。

許会長	承知した。区の目標がだいぶわかりやすくなってきた。飲酒の一部を一部修正してご了承願えれば、区長に対する答申とさせていただきたいがどうか。
全委員	承認。
許会長	それでは、修正した内容で区長に提出することにする。
健康推進課長	修正した上で、改めて皆様にお送りする。
許会長	<p>ありがとうございました。他には何かございますか。無いようなので以上をもちまして、平成 29 年度第 2 回板橋区健康づくり推進協議会を終了いたします。ありがとうございました。</p> <p>閉会</p>